２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（２月入試）

教室名（分野名）	社会福祉学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☑　一般学生 □　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	英語
出題の意図	問１ 社会福祉に関する英語文献を読ませ、専門知識を含む内容の理解度をおよび、英文を正確に訳す能力を測ることを目的とする。 問２ 社会福祉に関する英語文献について、内容を理解した上で、その要点を適切に要約する能力を測ることを目的とする。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

博士前期課程２月入試（一般）
英語

2026 年度　東京都立大学大学院　人文科学研究科　社会福祉学分野
博士前期課程　入試問題　英語

問題１と問題２のすべてに解答すること。解答用紙は問題１と問題２で別にすること。

問題１．以下の英文を日本語に全訳しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

博士前期課程 2 月入試（一般）
英語

出典　Mary Daly “Children and their Rights and Entitlements in EU Welfare States”, *Journal of Social Policy*, 49(2), 2020.

博士前期課程２月入試（一般）
英語

問 2. 以下の英文を日本語で要約しなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

博士前期課程2月入試（一般）
英語

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

博士前期課程２月入試（一般）
英語

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典　https://observant-paulspicker.wordpress.com/poverty-3/

２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（2 月入試）

教室名（分野名）	社会福祉学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☑　一般学生 □　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	基礎知識
出題の意図	社会福祉学全範囲を対象に、基本的知識（定義や考え方、特性や議論の経緯、根拠となる法制度、動向、実践における位置づけや機能などを含む）を備えているかを測る。受験者の専門性と出題の偶然の重なりによる有利不利が発生しないよう、15 問中 10 問の選択とする。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

博士前期課程 2 月入試（一般）
基礎知識

2026 年度　東京都立大学大学院　人文科学研究科　社会福祉学分野
博士前期課程（一般）　入試問題　基礎知識

問題　以下の 15 の用語のうち 10 個を選んで、それぞれ説明しなさい。解答の順序は問わない。また、それぞれの解答に字数制限は設けない。ただし、選択した用語の番号と用語を明記してから、全体が解答用紙 1 枚（両面）に収まるように解答すること。

1. 保護観察所
2. 信頼性と妥当性
3. こども家庭センター（児童福祉法第十条の 2）
4. スーパービジョン
5. 女性相談支援センター
6. 認知症初期集中支援チーム
7. アウトリーチ
8. 高額療養費制度
9. 障害者の法定雇用率
10. ボランティア元年
11. ガラスの天井
12. インターセクショナリティ
13. いのちのとりで裁判
14. 上乗せ・横出しサービス
15. サーベイ実験

以上

２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（2 月入試）

教室名（分野名）	社会福祉学教室
課程	博士前期課程
試験区分	☑　一般学生 □　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	論文
出題の意図	社会福祉に関する博士前期課程での専門的研究を行うために必要な、社会福祉制度ないしはソーシャルワークに関する基礎知識の量とバランス、およびその知識を的確に運用できる日本語の作文力、論理的な文章の構成力を総合的に評価するための出題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

博士前期課程　２月入試（一般）
論述

2026 年度　東京都立大学大学院　人文科学研究科　社会福祉学分野
博士前期課程（一般）　入試問題　　論述

問題　以下の２つの問題のうち、１つを選択して、解答用紙 20 行～30 行の日本語で解答しなさい。解答用紙の冒頭に選択した論題番号を書き、論述を始めること。

論題１　近年、日本で提唱されている「伴走型支援」について、それが求められる背景、具体的な方法、期待される効果、課題について論じなさい。

論題２　こども基本法では、こども施策の策定等に当たってこどもの意見反映に係る措置を講ずることを国や地方公共団体に対して義務付けた。このような政策が推進されるに至った背景と具体的な推進方法について論じなさい。

以上